

立命館大学
大学行政研究・研修センター

Ritsumeikan University
Research Center for Higher Education Administration

国際シンポジウム

事前申込制
参加費無料

2007年12月15日(土)
13:30~17:30(開場12:30)
場所:立命館朱雀キャンパス ホール(5F)

※終了後、懇親会(会費3000円、1F 多目的ホール)

同時通訳付

主催:立命館大学 大学行政研究・研修センター

後援:国立大学マネジメント研究会・大学行政管理学会・大学コンソーシアム京都

アカデミック・アドミニストレーター像を求めて

海外大学にみる 教育力強化の 取り組みと 職員の果たす 役割

1 海外調査報告

「米国の大学における教育力強化の取り組みとそのマネジメント」

本間政雄(立命館副総長、大学行政研究・研修センター長)

「英国の大学におけるFD活動と職員の果たす役割」

志磨慶子(立命館大学教学部事務部長)

「カナダの大学における教育評価活動と職員の果たす役割」

田尻 実(立命館大学教学部次長)

2 米国大学におけるアカデミック・アドミニストレーターの仕事

「バブソン大学における学習支援の取り組みとアカデミック・アドミニストレーターの役割」

エミール・レザ(バブソン大学学生部副部長、前学年指導主事)

※バブソン大学 1919年創立、米国マサチューセッツ州ワエルズリー市。学生数約3,400名(学部1,776;大学院1,583)。
教育は徹底した実学主義を貫き、起業学で全米大学ランキング1位(95年~07年、US News & World Report)。

3 フロア・オープンディスカッション

お申込方法: 申込用紙を下記URLからダウンロードしてFAXしてください。

申込締切日: 11月30日(金)

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/mng/dgc/index2.html>

R 世界を生きぬく人になる。
立命館大学
RITSUMEIKAN

立命館大学 大学行政研究・研修センター 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1-1 tel 075-813-8254 fax 075-813-8252

JR・地下鉄東西線二条駅下車すぐ。京都市バス・JRバス「千本三条・朱雀立命館前」下車すぐ。阪急電鉄大宮駅徒歩10分

*駐車場・駐輪場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

立命館大学 大学行政研究・研修センター 国際シンポジウム

「海外大学にみる教育力強化の取り組みと 職員の果たす役割」の開催

大学を取り巻く国内外における競争環境の激化の下で、大学職員に求められる役割も、従来とは比較にならないほどその業務領域を拡大し、また高度な知識と能力、専門性を求められるようになっていきます。

しかもこれからの大学職員は、管理運営はもちろん教育・研究の領域においても、教員に対する補完的な役割を越えて、教員の「真のパートナー」としての役割を果たすことが求められるようになるでしょう。

本シンポジウムでは、特に、今日、日本の高等教育にとって喫緊の課題である教育の質を高める取り組みにおける職員の果たす新しい役割に焦点をあてます。

教育行政をマネジメントするアカデミック・アドミニストレーターや学習支援者としてのアカデミック・アドバイザー、さらにカリキュラム設計や学習実態分析における新たな教職協働のあり方を視野に入れつつ、その方向をモデル的に提示したいと思います。

本シンポジウムを通して、米・英・加の教育改革の取り組みとその中での新しい職員の役割を考え、今後、日本の大学職員のめざすべき方向や「教育専門職」「アドミニストレーター」像を探る機会となれば幸いです。



立命館大学 大学行政研究・研修センター

国際シンポジウム

海外大学にみる 教育力強化の取り組みと 職員の果たす役割

2007年12月15日(土) 13:30~17:30 (開場12:30)
場所:立命館朱雀キャンパス ホール(5F)

R ※Rは立命館を意味する人になる。
立命館大学
RITSUMEIKAN

立命館大学 大学行政研究・研修センター
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
tel 075-813-8254 fax 075-813-8252